

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援室kodomo鶴見東口教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しく通ってくることが一番大事と思っています。通所した時の最初の声かけを意識して明るく入室出来るようにしています	暖かく迎え入れることを大切にしています。しかし、子供によっては、大きすぎる声が大嫌いな子もいますし、やや不安な気持ちで通所しているお子様もいますので、みんな同じ声かけではありませんが、入室時の第一声は重要と考えています	スタッフ全員で、子供たち一人一人の気持ちを理解して共有することを心掛けていきます。
2	個々にあった教材を準備し、就学に向けて必要なスキルアップへ向けて支援を行う事ができています。	子供たちの強みや弱みに着目して、力を引き出すための教材選びや助言などを的確に行い、労力をいとわずに向き合っています。	さらに、工夫が出来るように研鑽を積み、自分たちの知識やスキルアップを目指していきます
3	スタッフ同士の連携がスムーズであり、お願い事や問題点を共有できる	従業員の悩みや困りごとに、話やすい雰囲気作り心がけて丁寧な対応をするようにしています。	スタッフの年齢層は広いので、お互いの立場を尊重して仕事が出来るようにしていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼児クラスは、ご利用になられて日数が浅い方が多かったのですが、教室側からの運営方針や活動内容などの説明不足があったと思います。	年数をかけていけば、教室の流れを自然と体験していく形になりますが、経験していなくても理解出来るような丁寧な説明の必要性を感じました	ブログで教室の様子を発信していますが知らない方がいらした事は大きな反省点です。
2	幼児クラスのNCプログラムの取り組みを徹底したいです。	NCプログラムの使い方を徹底して、同じ基準値での評価が出るようにしていきたいです	スタッフへのNCプログラムの研修も行っていきたいです。
3			